

公開・非公開の別

公開  部分公開

非公開

## 令和2年度第1回浜松市母子保健推進会議 会議録

- 1 開催日時 令和2年7月2日（木） 午後1時30分から午後3時
- 2 開催場所 浜松市口腔保健医療センター 講座室
- 3 出席状況 委員  
[現地参加] 稲本 裕、齋藤 由美、田口 宏、森園 直美  
[web参加] 伊東 宏晃、石井 廣重、大木 茂、鹿野 共暁、神崎 江利子、  
野田 昌代  
事務局 鈴木 達夫（医療担当部長）、板倉 称（健康福祉部医監）、  
小山 東男（健康増進課長）、坂本 友紀（健康福祉部副参事）、  
平野 由利子（健康増進課長補佐）、健康増進課職員3名、  
子育て支援課職員2名
- 4 傍聴者 3人
- 5 議事内容  
(1) 令和元年度 浜松市母子保健事業実績報告  
(2) 令和元年度 浜松市児童福祉事業実績報告  
(3) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策における母子保健事業の対応  
(4) 家庭における子どもに対する受動喫煙の実態調査について  
(5) その他
- 6 会議録作成者 健康増進課母子グループ
- 7 記録の方法 発言者の要点記録  
録音の有無  有・無

## 8 会議記録

- 1 定刻の午後1時30分に開会し、事務局から資料の確認、委員の出席数の報告、情報公開の確認、報道機関の取材と傍聴者の了承、委員の紹介、医療担当部長挨拶、事務局の紹介を行った。  
また、会長選出では伊東委員が選任され、職務代理者として稲本委員が指名された。

### 2 議事

【会長】 それでは、令和元年度浜松市母子保健事業実績報告を事務局からお願いします。

【事務局】 事務局より資料をもとに説明。

【会長】 ありがとうございます。質問、お願いします。

【会長】 2ページ目の令和元年度の妊娠届出数が5,000人台に減少していますが、記憶が正しければ平成27年度には7000人台であったと思います。この4年間で1500~1600人の減はとても大きなことだと思います。市としてこの減少についてどのように対応していきますか。

【事務局】 やらまいか総合戦略の令和2~6年の計画にも記載していますが、結婚・出産の高年齢化や、若年層の転出が増大していることが一つの要因として考えられます。浜松市としても若年層の転出増大を抑える事業を企画しており、母子保健としても切れ目のない支援として対応していきたいと考えています。

【会長】 市としては、出生率の低下の主な原因は、若年層・出産世代の方が転出するためと捉え、出産世代の方の出生率は変わらないという解釈ですか。

【事務局】 合計特殊出生率も低下しています。出産世代の方の転出が大きいことや、結婚や出産が高年齢化していることなどが要因として大きいと考えています。

【会長】 転出というのは近隣の市でしょうか、東京圏でしょうか。

【事務局】 東京圏です。

【会長】 他に質問のある方いらっしゃいますか。

【委員】 子宮頸がん予防ワクチンの接種の増加は浜松のみですか、全国的な傾向ですか。

【事務局】 全国的には増加していません。

【委員】 浜松市で増えているということですか。

【事務局】 産婦人科・小児科の先生がご説明してくださり、接種へつながったと考えています。

【委員】 単年では増加傾向にあるかわからないので、今年度の様子見ですね。

【会長】 5ページの新生児聴覚スクリーニング検査についてですが、本来この検査は100%を目指してほしい検査だと思います。赤ちゃん訪問は99%近く良いことですが、なぜ新生児聴覚スクリーニング検査では残りの4.8%の方は検査を受けていないのですか。

【事務局】 里帰り出産の方の場合、かかった費用を償還払いとして請求してもらうことができます。産後1年以内まで請求できるので、まだ請求していない方もいらっしゃり数値に影響していると考えます。

【会長】 なんらかの形で里帰り出産の方の数値を確認しフォローすることで100%になるようにしていくべきだと感じますがいかがですか。

【事務局】今後資料に追加できるよう検討していきたいです。

【委員】市内医療機関では設備も整っていますし、実施していないということは考えづらく、統計的な問題だと思います。施設単位で把握していくのがよいのではないのでしょうか。

【会長】手間はかかるが、もれなく数字にして確認し把握した方が良いと思います。その他、質問のある方お願いします。

【委員】厚労省の子宮頸がん予防ワクチンのリーフレットについて、高1の方に渡すのではなく中2の思春期教室で渡す方がよいのではないのでしょうか。接種直前ではなく、親御さんにも考える余裕のある時期に渡す方がよいのでは。

【委員】質疑の最後のところでその件について考えていることがありますので、しばしお待ちください。では続きまして令和元年度浜松市児童福祉事業実績報告をお願いします。

【事務局】子育て支援課より、資料をもとに説明。

【会長】22ページ発達障害についてファーストコンサルの年齢が固定化されているように思います。本来小学校入学前の早期介入が理想的ですが、早期の介入というのは難しいですか。

【事務局】確かにルピロの相談者は0～6歳の割合は近年一定です。ルピロに相談する前に園から医療機関や療育へつながっていたり、巡回の支援事業やその他の発達の相談につながっていたりするなど、ルピロ以外の発達障害への体制が整ってきていると思います。

【会長】早期から発達障害の知識を啓発していて、就学期以前から発達障害が医療の現場につながっているということによいですか。

【事務局】そのような認識です。

【会長】産後ケア事業はよいですね、今後さらなる事業展開は考えていますか。

【事務局】手続きが複雑であるので、事業を利用しやすくするため、手続きもしやすくしていきたいと考えております。

【会長】お産をした医療機関でなく、産褥期の本人側が手続きをしないといけないので、その道筋を正してあげて利用しやすくするのがいいですね。潜在的な必要性は高い事業だと思います。

【委員】助産師会では資料にある件数の倍近くの件数を支援しています。ただ、平日・日中市の開庁時にしか手続きが取れないので、手続きすることが難しく利用できていない人もいるのが現状です。

【会長】すごくいい制度なのでうまくいくアイデアはなにかありませんか。

【事務局】市としましても、業務移管を受ける以前からの課題であるときいていますので、今後もっとうまく利用していただけるよう、手続きについて検討していきたいと思います。

【会長】他の政令市等に照会をかけ、参考にさせて頂くのも良いかもしれないですね。続いて議題3について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】議題3新型コロナウイルス感染拡大防止対策における母子保健事業の対応について、資料に基づき事務局より説明。

【会長】現在、思春期教室が実施できていないのは大きな問題ですね。思春期教室により、望まない妊娠や子宮がん検診の推進、子宮頸がんのワクチンの接種など認識してもらおう機会だと思

ます。例えば、思春期教室の講義を映像で撮影し、YouTube 等で思春期教室該当者等の特定の生徒に見てもらうのはいかがですか。医大では新型コロナウイルスの影響以降 web 講義も行っていきますが、web 講義の評判は良い状況です。

【事務局】今後、考えていきたいので産婦人科医会の先生方にも相談させてください。

【会長】特別なことは必要なく、専門的な技術がなくても web で公開できるので、思春期教室を受けない学年が生じないよう、年度内を目標にご対応ください。

【事務局】今後できるよう尽力していきたいので、ご協力をお願いしたいと思います。

【委員】はじめてのパパママレッスンは対象者を減らして実施するとのことでしたが、国からの補助も出ると聞いていますので web での準備をすすめ、web での公開と直接の開催と 2 本立てで行うのはいかがでしょうか。

【会長】医大でのパパママ教室は現在 web で行っています。新型コロナウイルスの第 2 波も考え web での映像公開をすすめてみてはいかがでしょう。

【事務局】動画を準備し、子育て情報サイト「びっぴ」に掲載していきたいと思います。パパママレッスンについて助産師会の皆さんに相談をしていきたいと思います。

【会長】それでは次の議題についてお願いします。

【事務局】議題 4 家庭における子どもに対する受動喫煙の実態調査について、事務局より資料をもとに説明。

【会長】質問ある方いらっしゃいますか。

【委員】すみません、先ほど言い忘れましたが、新生児聴覚スクリーニング検査に関してですが、聖隷浜松病院では顔面奇形やハイリスクがある等のお子さんは新生児聴覚スクリーニング検査の制度を利用せず、別途検査しています。年間数十人いるので事業実施者のパーセントに影響しているかもしれません。

【会長】その他ございませんか。では続いて、全体の中からその他の質問・提案としてなにかございませんか。ないようでしたら、私の方から 1 つあげさせていただきます。強く言いたいことですが、子宮頸がん予防ワクチン接種のリーフレット配布についてです。厚労省では子宮頸がん予防ワクチン接種のリーフレットについて改定版を作成予定でしたが、今回すぐには作成しないこととなりました。当初、小 6・中 3・高 1 の学年を対象に配布予定だったと思いますが、市の予防接種委員会からとりあえず高 1 の学年を対象に配布をとという提言がありました。しかしここで、母子保健推進会議委員として改訂されたリーフレットができるまで現行のリーフレットについて、小 6・中 3・高 1 の 3 学年を対象に送るよう提案したいと思います。新リーフレットができあがったら、随時新リーフレットを配布するという前提ですが、委員皆さんがこの提案にご賛同いただけるようでしたら、委員全会一致として提言したいです。皆さんいかがでしょうか。

【委員】(反対意見無く、全体賛同の意を示される。)

【事務局】予防接種委員会委員長へも相談し検討していきたいと思います。

【会長】では母子保健推進会議委員としては全会一致で決定ということで提言します。続いてですが、国及び県から希望する妊婦への PCR 検査の費用補助について、事業案が示されています。

浜松市については、検査時期はいつにするか、検査希望者数が増えたときどのように対応するか、検査結果が陽性だった場合浜松医療センターだけでの対応で良いのか、陽性だが無症状の場合対応はどうするのか、受入体制はどうするのか、PCR 検査自体はどこで行うのか、等々懸念事項は多くあります。市としてどのように考え、現場はどのように対応したらよいでしょうか。

【事務局】県からも予算計上されると聞いています。市としてはまだ具体的な方針について回答できる状況ではありませんが、検査体制や陽性者の受入方法等について市で実施する場合を想定し、市産婦人科医会等多面的に相談・検討している状況です。

【会長】市として、説明方法やフォローアップをどうするのが喫緊の課題と考えます。

【委員】市産婦人科医会からの提言という形はとれるのでしょうか。

【会長】難しい問題ですが、当事業を実施した場合は市が実施主体となるため、まずは市の方針がなければいけないように思います。

【委員】PCR 検査をして陽性者が出た場合、出産は帝王切開となります。偽陽性の場合、本来自然分娩で出産できる方が帝王切開になってしまいます。また、検査実施時点で陰性であっても出産時に本当に陰性かはわからず、不安軽減という点についても、簡単には軽減されません。現状の制度設計では賛成できません。

【事務局】国の事業として把握していますが、市としてはまだ予算措置しておらず、これから予算要求していく段階です。仮に予算がついた場合であっても、実施可能な体制を整備することが大前提となると考えます。

【会長】委員会等なんからの形で会議を立ち上げ、現場の先生方の意見を聞いた上で、現実的に実施可能な形を模索し、浜松市モデルを形成し実施していただきたいと思います。医師会を含め現場の医師等との十分な検討をしたのちに実施可能な形でやってもらいたいという提言を母子保健推進会議から出させていただきたいのですが、委員の皆様いかがでしょうか。

【委員】(賛同)

【会長】誰にとってもベストな形というのは難しいと思いますが、実施する場合は浜松市モデルとしてベターな形を模索・検討してください。その他無いようでしたら、本日の母子保健推進会議はこれにて閉会させていただきたいと思います。

【事務局】1点連絡事項を申し上げます。第2回の会議の開催ですが来年2月頃を予定しております。会議の開催日が決まりましたら改めて皆様へ通知の方をさせていただきますので、よろしくお願ひ致します。以上です。

【会長】それでは以上をもちまして、母子保健推進会議を閉会します。どうもありがとうございました。